

# 平成 30 年度 つばみ保育園事業報告書

つばみ保育園 園長 大藤正美

## 1.保育所の運営

①定員 195 名に対し、毎月初日の在籍児童数は下記表の通りである。

年度途中の入れ替わり 10 月に 2 名退園の 1 名入園で 197 名の時もあったが、翌月には 1 名入園があったので概ね運用定員の 198 名は確保することができた。

また年間を通して入園希望の見学があり、常に待機児童があるという事と保育園探しに翻弄している育児休暇中の保護者がとても多かった。

| 保育実人員 定員 195 名(3 歳未満児 70 名 3 歳児以上 125 名) |     |     |     |     |     |     |     |      |      |      |     |     |     |      |
|------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|------|
| 定員                                       | 年齢  | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 合計   |
| 10                                       | 0 歳 | 13  | 13  | 13  | 13  | 13  | 13  | 13   | 13   | 13   | 13  | 13  | 13  | 156  |
| 21                                       | 1 歳 | 21  | 21  | 21  | 21  | 21  | 21  | 21   | 21   | 21   | 21  | 21  | 21  | 252  |
| 39                                       | 2 歳 | 39  | 39  | 39  | 39  | 39  | 39  | 39   | 39   | 39   | 39  | 39  | 39  | 468  |
| 41                                       | 3 歳 | 41  | 41  | 41  | 41  | 41  | 41  | 41   | 41   | 41   | 41  | 41  | 41  | 492  |
| 84                                       | 4 歳 | 42  | 42  | 42  | 42  | 42  | 42  | 42   | 42   | 42   | 42  | 42  | 42  | 504  |
|                                          | 5 歳 | 42  | 42  | 42  | 42  | 42  | 42  | 42   | 42   | 42   | 43  | 43  | 43  | 506  |
| 195                                      | 合計  | 198 | 198 | 198 | 198 | 198 | 198 | 197  | 198  | 198  | 199 | 199 | 199 | 2378 |
| 職員数                                      |     | 46  | 47  | 49  | 48  | 48  | 47  | 47   | 48   | 48   | 48  | 48  | 49  |      |

## 外国籍家庭

両親中国 17 人 要支援家庭 1 件

母フィリピン 3 人(母子家庭) 要支援家庭 2 件

父バングラデシュ 1 人

両親ネパール 1 人

父イタリア 1 人

母韓国 1 人

②職員の異動については、下記表のとおりである。

### A.新規採用者(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31)

|   | 職 種   | 性別 | 採用年月日            | 備 考 |
|---|-------|----|------------------|-----|
| 1 | 保育士   | 女  | 平成 30 年 4 月 1 日  | 常勤  |
| 2 | 調理員   | 女  | 平成 30 年 5 月 1 日  | 常勤  |
| 3 | 看護師   | 女  | 平成 30 年 6 月 1 日  | 常勤  |
| 4 | 保育士助手 | 女  | 平成 30 年 6 月 1 日  | 非常勤 |
| 5 | 看護師   | 女  | 平成 30 年 10 月 1 日 | 常勤  |
| 6 | 保育士助手 | 女  | 平成 30 年 11 月 1 日 | 非常勤 |
| 7 | 保育士   | 女  | 平成 31 年 3 月 1 日  | 非常勤 |

B.退職者(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

|    | 職 種   | 性別 | 退職年月日            | 在職年数       | 退職理由   |
|----|-------|----|------------------|------------|--------|
| 1  | 看護師   | 女  | 平成 30 年 6 月 14 日 | 14 日       | 一身上の都合 |
| 2  | 保育士助手 | 女  | 平成 30 年 8 月 31 日 | 3 ヶ月       | 病気治療の為 |
| 3  | 保育士助手 | 女  | 平成 31 年 3 月 31 日 | 11 年 10 ヶ月 | 一身上の都合 |
| 4  | 保育士助手 | 女  | 平成 31 年 3 月 31 日 | 6 年 6 ヶ月   | 一身上の都合 |
| 5  | 保育士   | 男  | 平成 31 年 3 月 31 日 | 5 年        | 転職     |
| 6  | 保育士   | 男  | 平成 31 年 3 月 31 日 | 2 年        | 転職     |
| 7  | 保育士   | 女  | 平成 31 年 3 月 31 日 | 2 年        | 転職     |
| 8  | 保育士   | 男  | 平成 31 年 3 月 31 日 | 3 年        | 転職     |
| 9  | 保育士   | 女  | 平成 31 年 3 月 31 日 | 5 年        | 転職     |
| 10 | 保育士   | 女  | 平成 31 年 3 月 31 日 | 5 年        | 引っ越し   |
| 11 | 保育士   | 女  | 平成 31 年 3 月 31 日 | 3 年        | 転職     |

2.保育内容報告

保育目標：のびのびと いきいきと

(集団保育を通して、やさしい心と丈夫な体、個性ある人格を培う)

0 歳児 ひよこ組 【感覚機能を刺激し、生活全体のバランスを高め、安定を図る。】

- ① しっかりと抱っこされて、心地よいあやし言葉をかけられ、喃語を多く出させ、言葉の基礎を作っていく。
- ② 無理なく離乳食を食べられるようにする。
- ③ 身体の発達を助ける働きかけを受けながら、歩行開始をする意欲を引き出し援助する。

1 歳児 ひばり組 【情緒の安定を図り、社会的行動の始まりを大切に見守って行く。】

- ① 歩行を完成させる。
- ② 模倣活動を通して、基本的生活習慣を身につけようとする気持ちを引き出して育てる。
- ③ 遊具を豊富に自分の手で使用し、保育者からの豊かな話しかけを聞くことによって、言葉を育てる。

2 歳児 かなりや組 【ここの子どもの気持ちを大切にしながら、生活習慣の自立を助けまた、保育者や友だちとの関係を広げつつ、運動機能や言語活動のめばえを助ける。】

- ② 自分であろうとする気持ちを養いながら、基本的生活習慣が身につくようにする。
- ② 屋外遊びや、遊具で遊ぶ機会を多くし、手・足・指先をたくさん使って運動機能の発達を図る。
- ③ 一緒に行動したり遊んだりする中で、言葉のやりとりを楽しむ。
- ④ 保育者が仲立ちとなって生活や遊びの中で、言葉のやりとりを楽しむ。
- ⑤ いろいろな素材を用いて遊ばせ、表現することの楽しさを育てる。

### 3 歳児 すずめ組 【生活経験をより豊にし、社会性を育てる。】

- ① 子ども同士の関わり合いと、遊びの内容を広げて言語活動を活発にする。
- ② 自分の身体を自分でコントロール出来るよう、基本的な運動機能をより発達させる。
- ③ 食事・排泄・衣服の着脱など日常的な身の回りのことを大体自分でできるようになる。

### 4 歳児 つばめ組 【全身を使った自発的活動を十分させ、体力と自主性を養う。】

- ① 集団での遊びを組織化することによって、遊びの楽しさを十分味わえるようにする。
- ② 自分の気持ちや意見を相手に伝え、自分で考え行動できる力を養う。
- ③ 楽しくなるような遊びを考えていくことによって、知的意欲を高めていく。

### 5 歳児 はと組 【意欲的に活動し、集団の中で自立と強調の芽を育てる。】

- ① 自己主張がはっきり出来、感情表現を豊にする。
- ② 自分以外の相手を認め、気持ちを察しようとする事が出来るようになる。
- ③ 社会性をより一層高め、幼児期から学童期への成長を促していく。

◎保育指針の改定に伴い、少人数での保育への取り組みをどのクラスも意識をして保育を心がけた。

特に 0 歳・1 歳・2 歳児クラスは、日々の生活の中で小集団で活動する事を意識し、中でも 2 歳児の取り組みは、東京都社会福祉協議会研修部保育部会年令別学習会において、事例発表させて頂き参加園より好評価を頂き、2019 年 6 月の東京都保育大会においても事例発表させて頂くことになっている。

◎各年齢に保育目標に沿って、子どもの情緒が安定した生活ができるような環境に配慮し、またひとりひとりが自己を十分発揮して、積極的に活動できるよう保育実践を心がけた。児童ひとりひとりがそれぞれに大きな成長を遂げ、主体形成に少しずつ近づくことができた。

◎行事は、年間行事予定に従い行う事が出来た。年長組のお泊まり会を 10 月に外部の千葉県佐倉市草笛の丘行った。初めてお試みであったが、子ども達の興味関心・成長、職員の配置などにおいて一定の成果が見られた。

現在も継続中であるが、大人数の職員集団の中でいかに休憩をしっかりとっていくか、超過勤務を減らすため仕事の見直しと整理をしながら、職員間の意識の統一を図るための話し合いの時間を作り保育を進めていくことは今後も大きな課題だと思う。

### 3.延長保育 (午後 6 時 30 分～午後 7 時 30 分迄の保育)

常勤保育士 2 名・非常勤保育士 1 名・調理員 1 名・保育士ローテーション 2 名

定員 30 名である。年間を通し契約していた人数は定員通りであったが、スポットでの利用家庭がとて多かった。毎日利用するほどではないが、仕事の内容によって月初・月末のみの利用を希望する状況であった。

延長保育ならではの保育内容の充実もあり、子ども達は延長保育をととても楽しみにしている姿があった。

異年齢での関わりをの為、延長保育組の連帯感もあり日常の保育の中での関わりも多く生まれお互いに思いやる姿が見られた。

#### 4.障害児保育

平成 30 年度在籍した障害児は 4 名であった。

4 歳児      スーナン症候群

4 歳児      両側低形成腎・腎不全

5 歳児      クリッペルファイル症候群    両側高度難聴      身体障害者手帳 1 級

5 歳児      発達遅滞の疑い

個々人の成長に合わせた保育を心がけ、集団の中に取り込まれていくことが多かったが、時には保育士と 1 対 1 だったり、小集団を作ったりしながら保育をしていった。

5 歳児 1 名は、地域の小学校の特別支援学級に入学をし、もう 1 名は都立葛飾豊学校小学部に入学をした。

4 歳児の両側低形成腎・腎不全の子どもは、3 月に母親からの生体腎移植を行い無事成功し、5 月より保育園に復帰した。ただ、すぐに経管栄養が外れるわけではなく冬 12 月に管が外れ他児と同じように給食が食べられるようになった。抵抗力は弱くマスクは外せないこと、行動面においても規制があったため、本人も「病気だから」と納得している姿は或るものの、保育士のケアは必用であった。

上記の子ども達の他に、明らかに気になる子どもも在園し、子ども家庭支援センターやかかりつけの医師などによる経過観察中の子どももいた。

障害児をもつ保護者からの問い合わせ・見学・入園希望もとても多い。看護師が在籍していることで医療的配慮の必要なお子さんをお持ちの保護者からの問い合わせが多い。

今後とも子どもの環境を整え障害児のみならず全ての園児により良い保育を行っていきたい。

#### 5.給食

- ① 安心・安全な給食を心がけ、栄養士・調理員・看護師・各担任・主任・園長と毎月献立会議を開き、食育活動も含めて計画を立てていった。

(野菜ちぎり・鮭の解体・食材の購入・小松菜・なすの栽培と収穫・鰹節と昆布の出しの違い・目の前での調理・4 歳児による自分たちのご飯のお米をとぐ等)

- ② アレルギーのある児童に対しては、医師・看護師・栄養士・担任・保護者と連携をしながら、個々人に合わせた献立を作りアレルギー物質を摂取しないよう、普通食献立と見劣りしないよう配慮していった。

誤食に繋がるミスはなかった。今後も作業中の確認作業から始めマニュアルに沿った行動をとり事故に繋がらないよう気を引き締めていく。

- ③ 保育参観で保護者にも給食を食べて頂き味付けや料理方法を実感したり、献立表とは別に給食だよりを毎月一回発行し人気メニューのレシピを載せたりすることで、保護者に更に分かりやすく給食内容を知らせ、興味を持ってもらうことができた。

## 6.健康・保健

### ① 児童

#### 【内科検診】

乳児健診(0歳児13名)毎月1回園医の恵仁堂医院山上先生による健康診断の実施  
全園児のために、年2回5月・10月園医の恵仁堂医院山上先生による健康診断を実施。  
健康診断当日欠席した児童や乳児は翌月の健診で受診するなどし、全園児の健康管理に努めた。

#### 【歯科検診】

年1回6月園医の小野寺歯科医院小野寺先生による健康診断を実施。当日欠席した児童は後日小野寺歯科に連れて行き受診し、全園児の健康管理に努めた。

#### 【視力検査】

年1回11月4歳児・5歳児対象に看護師による視力検査の実施。数名の視力の発達に問題のある園児を発見し、眼科受診へ繋げた。その結果数名の視力矯正の必要が認められ眼鏡を使用する事になった。

#### 【手洗い・うがい指導】

2歳児以上対象に季節や状況にあわせ、各クラスを周り看護師が指導し、手洗いうがいの励行に努めた。

#### 【歯磨き指導】

2歳児以上対象に6月1月の年2回各クラスを周り看護師が指導し、正しい歯磨きの仕方を伝え歯の大切さを周知していった。

#### 【発育測定】

全園児クラスごとに担任が身長と体重を量りカードに記入し保護者に確認してもらい、児童表に記入。

### ② 職員

#### 【定期健康診断】

全職員5月10月年2回園医恵仁堂医院山上先生による健康診断の実施。

#### 【予防接種】

園医恵仁堂医院山上先生に来て頂き、10月に全職員がインフルエンザ予防接種を受けた。

#### 【検便】

毎月1回全職員が小岩健康サポートセンターに依頼し、赤痢菌・サルモネラ菌・病原性大腸菌(O-157)の検査を実施。全員異常なしだった。

今年度も看護師の2名体制で保育をすすめることが出来たのはとても良かった。

保健指導について、手洗い・うがい・歯磨き・視力等工夫をしながら子ども達の年齢にあわせて保育の中で知らせていった。

今年度初めて看護師より、4歳児・5歳児を対象に【いのちのはなし】をする時間を設けた。

5歳児は真剣に話を聞いていたが、4歳児には少し難しかったのか反応が少なかったので、時間をおきもう一度行うことで理解を深めることが出来たように思う。

大きく体調を崩す子どもはいなかったが、保護者の勤務の都合上しっかり休むことができず、ぐずぐずと体調の悪さを引きずる子どもが多かったように思う。

病児保育はしていないので、忙しい保護者の思いも受け止めつつ、子どもが健康的により良く過ごせる環境づくりに励んでいきたい。

## 7.実習生・ボランティアの受け入れ

### ①実習生

#### 保育士

| 学校名           | 学年 | 人数 |
|---------------|----|----|
| 東京こども専門学校     | 2  | 2  |
| 道灌山学園保育福祉専門学校 | 2  | 1  |
| 淑徳大学          | 4  | 2  |
| 彰栄保育福祉専門学校    | 2  | 1  |
|               | 1  | 2  |
| 東洋大学          | 3  | 1  |
|               | 4  | 1  |
| 千葉経済短期大学      | 1  | 2  |
| 大妻女子大学        | 2  | 1  |
| 東京家政大学短期大学部   | 1  | 1  |
| 東京教育専門学校      | 1  | 4  |
|               | 2  | 1  |
| 和洋女子大学        | 4  | 1  |
| 彰栄保育福祉専門学校    | 1  | 2  |
| 東京福祉専門学校      | 2  | 1  |
| 東京リゾート福祉専門学校  | 2  | 1  |
|               | 計  | 24 |

#### 看護師

|      |   |   |
|------|---|---|
| 首都医校 | 2 | 5 |
|      | 計 | 5 |

#### 栄養士

|           |   |   |
|-----------|---|---|
| 華学園栄養専門学校 | 2 | 2 |
|           | 計 | 2 |

### ②チャレンジ・ザ・ドリーム(中学生職場体験)

|              |   |    |
|--------------|---|----|
| 江戸川区立小岩第2中学校 | 2 | 4  |
| 江戸川区立小岩第3中学校 | 2 | 5  |
| 江戸川区立上一色中学校  | 2 | 4  |
| 江戸川区立鹿本中学校   | 2 | 5  |
| 江戸川区立春江中学校   | 2 | 3  |
|              | 計 | 21 |

### ③ ボランティア

|              |   |   |
|--------------|---|---|
| 東京家政短期大学栄養科  | 1 | 6 |
| 江戸川区立小岩第2中学校 | 1 | 1 |

|                 |   |    |
|-----------------|---|----|
| 大妻女子短期大学食物栄養専攻科 | 1 | 13 |
| 江戸川区子育て支援員研修    |   | 1  |
|                 | 計 | 21 |

上記の受け入れを行った。保育士の仕事は増えるが、将来の人材育成と人材確保も視野に入れ丁寧に関わることで、自らの保育に対する振り返りにもなるので、今後とも積極的に受け入れていきたい。  
保育士採用の確保の為、実習生に声をかけたみたが、すでに決まっている学生が多かった。1年生のうちに声かけが必用だったのかもしれないが難しい。

## 8.意見や問い合わせ

保育園に対しての意見等はなかった。また、第三者委員の方への問い合わせもなかった。  
今年度は、第三者評価を受けていないが、日々保育園に対して信頼を寄せていただけているよう、今後も日頃から保護者とのコミュニケーションを積極的にとるよう心がけていきたい。

## 9.職員研修

本年度も、外部研修を充実させることを目的とし様々な研修に全員が参加出来るようにした。  
園内研修は、外部講師を招いて昨年度の学びを更に深め、保育士としての役割を考える研修をした。

7月11日 コミュニケーション  
11月28日 モチベーション  
1月31日 自分らしさ

## 外部研修

| 江戸川区認可私立保育園乳幼児食事研究会           |    |
|-------------------------------|----|
| 大量調理のポイント                     | 1人 |
| 食べる力の育ち 機能・発達・育ちを知る           | 1人 |
| 離乳食と1～2歳児食のポイント               | 1人 |
| 江戸川区認可私立保育園園長会研修              |    |
| 保育の危機管理と救命措置                  | 1人 |
| 保護者支援について                     | 1人 |
| リーダー層の立場に立ったコミュニケーションはどうあるべきか | 2人 |
| 発達障害講座「卒園後の子ども達」              | 1人 |
| 職場のコミュニケーション                  | 2人 |
| 乳児保育                          | 1人 |
| 子どもの日常生活で出来る体力の向上             | 1人 |
| リーダー層研修「人間関係」                 | 1人 |
| 江戸川区小岩健康サポートセンター              |    |
| 保育園給食の衛生管理                    | 1人 |
| 慢性便秘症診断ガイドライン 2017 版発行にあたって   | 1人 |
| 東京都社会福祉協議会保育士会 給食部会           |    |

|                                  |     |
|----------------------------------|-----|
| 離乳食について                          | 1 人 |
| 防災時アレルギー食について                    | 1 人 |
| 食育「食事マナー・行事食」について                | 1 人 |
| 施設見学「杉並ゆりかご保育園」                  | 1 人 |
| 保育園規模別意見交換                       | 1 人 |
| 調理実習                             | 1 人 |
| 保護者対応と職員間の連携について                 | 1 人 |
| <b>東京都社会福祉協議会保育士会 保育部会</b>       |     |
| 自園紹介・絵本について                      | 1 人 |
| 施設見学「八潮かえで保育園」                   | 1 人 |
| つばみ保育園実践報告                       | 1 人 |
| 保護者支援・子育て支援                      | 1 人 |
| 保育講座「乳幼児期におけるアタッチメントの重要性と保育者の役割」 | 1 人 |
| <b>東京都社会福祉協議会保育士会 主任部会</b>       |     |
| 記録の書き方                           | 1 人 |
| 主任の仕事とは                          | 1 人 |
| 施設見学「石神井町さくら保育園」                 | 1 人 |
| 施設見学報告会                          | 1 人 |
| 情報交換「主任の悩み」                      | 1 人 |
| 作って遊ぼう                           | 1 人 |
| 講演会「本当の大人とは」                     | 1 人 |
| <b>東京都社会福祉協議会保育士会 年齢別学習会</b>     |     |
| 0 歳児保育 環境～子どもが主体的に遊べる環境づくり～      | 1 人 |
| 1 歳児保育 環境～遊びと生活～                 | 1 人 |
| <b>保育士等キャリアアップ研修</b>             |     |
| キャリアアップ研修 マネジメント                 | 1 人 |
| <b>福祉職員職務階層研修</b>                |     |
| キャリアアップ研修 中堅職員研修                 | 2 人 |
| <b>日本保育者支援協会</b>                 |     |
| キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援            | 1 人 |
| 保護者対応のプロになるためのトレーニング             | 2 人 |
| <b>保育プラザ JAPAN</b>               |     |
| キャリアアップ研修 マネジメント                 | 2 人 |
| キャリアアップ研修 幼児教育                   | 1 人 |
| キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策              | 1 人 |
| キャリアアップ研修 障害児保育                  | 1 人 |
| キャリアアップ研修 乳児保育                   | 1 人 |
| 新人職員研修                           | 2 人 |
| リーダー的職員の育成                       | 1 人 |
| <b>社会福祉法人日本保育協会</b>              |     |
| キャリアアップ研修 乳児保育                   | 1 人 |

|                               |     |
|-------------------------------|-----|
| キャリアアップ研修 障害児保育               | 1 人 |
| キャリアアップ研修 幼児教育                | 1 人 |
| キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策           | 1 人 |
| 保育の仕事とは？～保育の基本と大切にしたい視点～      | 1 人 |
| 東京都民間保育協会                     |     |
| 新任研修                          | 1 人 |
| 江戸川区子どもか底部子育て支援課              |     |
| 感染性胃腸炎蔓延防止対策                  | 1 人 |
| わらべ歌の実践遊び                     | 1 人 |
| 模擬災害を体験しながら学び、災害時の防災行動力を身につける | 1 人 |
| 東京都健康安全研究センター                 |     |
| 子どものアレルギー疾患に関わる知識の習得          | 1 人 |
| 東京都福祉健康財団                     |     |
| アレルギー対応体制強化                   | 1 人 |

計 62 名

処遇改善Ⅱを行うためのキャリアアップ研修に参加することが多かった。

研修参加者はレポート提出と職員会議で報告をし、全職員でレポート閲覧と押印し情報の共有化に努めた。

## 10.非常災害危機防止等防災訓練の実施状況

### ①避難訓練

月 1 回訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を確認しあった。

### ②交通安全

11 月に、ぶどうの部屋にて江戸川区交通安全課による 4 歳児・5 歳児を対象に交通安全について興味を持たせ、ルールを守ることの大切さの指導を受けた。

また、職員も不審者対応を小岩警察安全課のかたに来て頂き講習を受けた。

## 11.その他

### ①近隣の苦情について

＊車ででの送迎の方で路上駐車をし、注意を受けることがあった。その都度、保護者に注意をしたり、周知を促す手紙を配布した。

＊散歩途中で、1 件のお宅から子どもの声がうるさいと注意を受けた。以降、その家の前は通らないようにしている。

### ②30 年に実施した主な修理等

園児通用門の電子施錠の修理

調理室電解水工事

調理室ガス台工事

調理台工事

1 歳児室拡張工事等